

◎こんにゃくの成長

- 芽が出揃ったら、暑さから、こんにゃく芋を守るためと、次の草が生えるのをおさえるため、草を取った後は刈草や笹の葉を敷きます。敷き草は、鎌の柄ほどの高さまで敷くと大きなこんにゃくが出来るそうです。肥料も十分に撒きます。(1㎡当り100g)

こんにゃくの葉が大きくなると、畑に入らないほうが良いそうです。葉を痛めると病気にかかりやすくなります。草取りは7月中旬までに終わらせ、収穫までは畑には入らない。

また、夏には枯れ葉病や腐敗病が発生しやすいので、排水を良くし、発生すれば薬剤を散布します。



収穫前のこんにゃく



◎こんにゃく芋の収穫

- こんにゃくの葉が枯れると収穫です。
芋を傷つけないように手で掘ったり、専用の鍬を使って掘ります。



芋を傷つけないように手で掘っています



専用の鍬を使って掘っているところです



こんにゃく芋掘専用の鍬

※ 次の年に植える種芋は土中で保存するか、冬季に凍結しないよう新聞紙にひとつずつくるみ、箱などに入れて室内で保存する。